2025 年 8 月 8 日

各位

株式会社池田泉州銀行
池田泉州キャピタル株式会社

～器用なロボットハンドで、次世代の製造現場づくりに貢献します～

イノベーションファンド 25Next による 株式会社 Thinker への投資実行について

池田泉州キャピタル株式会社（社長 入江 努）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 阪口 広一）等が出資する「関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド 25Next）」は、本日、株式会社 Thinker（本社：大阪府大阪市、代表取締役 藤本 弘道）に対し、投資を実行いたしました。

イノベーションファンド 25Next は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、2025 年大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」や「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。

株式会社 Thinker は、大阪大学の研究成果をもとに設立されたスタートアップ企業であり、最先端のロボティクス技術により、これまで機械では対応が難しく人手に頼っていた作業の自動化を実現する“器用なロボットハンド”の開発・販売を行っております。

当社のコア技術は、物体に触れずにその存在や距離を検知できる独自の「近接覚センサー」と、柔軟でなめらかに動く「柔軟アクチュエータ」を組み合わせていることです。その技術により、バラ積み、あるいは積み重なったりしている対象物を「てさぐり」で掴むことができ、“人の手による感覚的な作業”を模倣した動きを実現しています。この技術によって工業・医療・食品分野等、従来ロボットの導入が難しかった現場においても、高い適応力と操作性を備えた“器用なロボットハンド”の提供が可能となっております。

同社は今後、独自センサー技術を核としたロボットハンドの製品展開を進め、現場ごとのニーズに応じた応用開発を重ねながら、物流・製造・協働ロボットなど多様な分野への展開と社会実装を目指してまいります。

当行グループはイノベーションファンド 25Next を通じて、SDGs ⑧「働きがいも経済成長も」および⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」の実現に貢献する株式会社 Thinker を支援いたします。

株式会社 Thinker の開発したロボットハンド

（出典：株式会社 Thinker　提供資料）

【投資先概要】

社名	株式会社 Thinker
代表取締役	藤本 弘道（ふじもと ひろみち）
所在地	大阪市中央区久太郎町 4 丁目 1-3　大阪センタービル 6F-188
設立	2022 年 8 月 12 日
事業内容	独自の近接覚センサーを用いたロボットハンドの開発・販売
URL	https://www.thinker-robotics.co.jp/
ミッション	ロボットハンドの民主化
SDGs の実現	
備考	・J-Startup KANSAI 選定（2023 年）

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合 （愛称：イノベーションファンド 25Next）
ファンド総額	29.3 億円
有限責任組合員(LP)	岩谷ベンチャーキャピタル合同会社、公益財団法人大阪産業局、 大阪信用保証協会、関西テレビ放送株式会社、 サントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社、 株式会社ダスキン、南海電気鉄道株式会社、日本生命保険相互会社、 阪急阪神ホールディングス株式会社、三井住友信託銀行株式会社、 株式会社ゆうちょ銀行、株式会社ユニオン、株式会社読売新聞大阪本社、 ロート製薬株式会社、株式会社池田泉州銀行
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」「Society5.0 の実現」 に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2023 年 5 月 30 日
存続期間	10 年（最大 3 年まで延長可）
連携機関	大阪府、大阪市、堺市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、 地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行 （2023 年 5 月 30 日付『「関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合」を通じた連携に関する協定書』を締結）